

NEWS RELEASE

京阪電気鉄道株式会社
広報部

2026(令和8)年10月23日

関西私鉄初！ 京阪電車×サントリー「TAG-LIVE！LABEL」
引退した“卵型車体 2200系・2400系・2600系”がオリジナルラベル缶で復活！
コラボ商品を10月下旬より発売
～北浜駅・三条駅・SANZEN-HIROBAの専用自動販売機にて限定販売～

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府枚方市、代表取締役社長：井上 欣也）は、サントリービバレッジ&フード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木村 穰介）が展開する「TAG-LIVE！LABEL」とのコラボレーションとして、関西の私鉄初となる「鉄道車両ラベル TAG 缶」の自動販売機を、京阪電車の北浜駅・三条駅（いずれも改札外）、およびSANZEN-HIROBA（くずはモール内）の3箇所に設置し、2026年10月下旬より販売を開始します。

今回は、2026年8月21日に惜しまれつつ運行を終了した、2200系・2400系・2600系車両の懐かしい写真などをあしらった特別デザインの専用自動販売機を設置し、各車両をモチーフにしたオリジナルデザインラベル「ありがとう TAG 缶」として、各車両6種類、全18種類のデザインで、設置場所毎のランダム販売を展開します。どのデザインが出てくるかは購入してからのお楽しみです。

引退した2200系（1964年登場）、2400系（1969年登場）、2600系（1978年登場）は、高度経済成長期における著しい輸送需要の増大に対応するため、急行用車両や関西初の通勤用冷房車両などとして順次導入され、車体下部が膨らんだ独特の丸みを持つデザインから“卵型車体”として、長年にわたり沿線のお客さまや多くの鉄道ファンに愛され続けてきた車両です。長年にわたり京阪線を支え続けた名車たちの姿を、ぜひコレクションしてお楽しみください。

詳細は別紙のとおりです。

京阪電車
引退した 2200系 2400系 2600系 が
オリジナルラベル缶で復活!!

北浜駅 SANZEN-HIROBA (くずはモール内) 三条駅
ウーロン茶 各900円
専用自販機で限定販売

TAG-LIVE! LABEL
詳細・最新情報はこちら! QRコード

(別 紙)

■「ありがとう TAG 缶」販売概要

商 品 名：「ありがとう TAG 缶」（オリジナルデザインラベル缶）

価 格：900 円(税込)

販売内容：ウーロン茶（常温販売）

販売開始：2026 年 10 月下旬～

販売方法：専用自動販売機によるランダム販売

設置場所および展開デザイン：全 18 種類／各 6 種類・ランダム販売

各設置場所で異なる車両のデザインを展開します。

- ・北浜駅構内（改札外）：北浜駅限定 2400 系デザインを展開〈全 6 種〉
- ・三条駅構内（改札外）：三条駅限定 2600 系デザインを展開〈全 6 種〉
- ・SANZEN-HIROBA（くずはモール内）：SANZEN-HIROBA 限定 2200 系デザインを展開〈全 6 種〉



〈こだわりのデザイン〉

車両写真のほか、鉄道ファン必見の「車両設計図デザイン」をラインナップしました。

〈楽しみ方いろいろ〉

缶のままインテリアとして飾るだけでなく、ラベルを剥がしてステッカーとしてもコレクションしていただけます。

「TAG-LIVE ! LABEL」とは

「TAG-LIVE ! LABEL」は、キャラクターや写真などをデザインしたオリジナルラベル缶を、自動販売機を通じて販売するサービスです。多彩なデザインをランダムで販売することで、「どのデザインに出会えるか」という購買体験そのものを楽しむことができ、イベントやスポーツ、キャラクターなどの記念性やコレクション性を高めます。

TAG-LIVE ! LABEL 公式サイト：<https://tag-live-label.jp/>

以上